

執筆者紹介

柴田 弘捷 しばた ひろとし 本研究所研究参与

〈編集後記〉

地方都市の疲弊化が叫ばれて久しい。同時に製造業の重要性も指摘されるが、現実には厳しい状況である。

今回お届けする柴田参与の第一報は、まさに「地方都市の疲弊化」と「製造業のレーゾンデートル」の難題への果敢なアプローチである。柴田氏は綿密なデータの吟味と現場でのヒヤリング調査から、上記の難題解決へ向かわれたようである。「柴田社会学」の真骨頂である。

一般的には農林業は自然の影響を受けやすく、収穫量や価格は不安定である。一方、製造業もグローバルな景気変動に敏感で、不安定な側面をもっている。特に地方都市では人口減少や高齢化が顕著で、製造業の今後を考えると不安になる。しかしものづくりに熱い想いを注ぐ柴田氏は、造船、タオル、紙などの製造業の集積に注目し、それらのレーゾンデートルの解明を本稿の目的にされている。7月（予定）に後半部分の第二弾として、社会構造や都市構造に言及されますが、われわれ読者は地方都市の製造業のありかたに、新しい知見が得られることをおおいに楽しみに待ちましょう。

（福島義和）

2014年4月20日発行

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

（発行者）村上俊介

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561
